

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。まわりに登録されていない方がおられましたら、ぜひ登録をお勧めください。

【技術普及課からのお知らせ】

【病害虫発生予報の発表について】

【施策情報】

☆「第3回みどり技術ネットワーク全国会議」を開催します！

=====

=====

普及指導員の皆様におかれましては、今後の普及指導活動の参考になる研究大会となりますので、ぜひご視聴ください。

・開催日時：令和7年11月20日（木）10時00分～16時45分

- ・開催場所：AP 日本橋会議室（YouTube により公開配信）
- ・主催：全国農業改良普及職員協議会、一般社団法人全国農業改良普及支援協会

▼YouTube 配信 URL

<https://youtube.com/live/X409wvD3Jf4>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課

（担当：渡邊、北川）（03-6744-2107）

++・…… 病虫害発生予報の発表について ……・++

=====

◆「令和7年度 病虫害発生予報第9号」（令和7年11月12日（水）付け）を発表しました。

【消費・安全局 植物防疫課】

=====

農林水産省は、今後の水稻の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第9号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれては、病虫害防除所等と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○今後発生量が多くなると予想される主要な病虫害及び地域

- ・野菜・花きでは、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ及びハスモンヨトウの発生が、関東、東海等の複数の地域の一部で多くなると予想されています。
- ・かんきつのハダニ類の発生が、東海、近畿及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、きゅうりのコナジラミ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

○「令和7年度 病虫害発生予報第9号」の発表について

（令和7年11月12日（水）付け農林水産省プレスリリース）はこちらから

※ 都道府県の発表する病虫害発生予察情報と併せてご利用ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/251112.html>

○都道府県の病虫害発生予察情報などはこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課

国内防除第2班（03-3502-3382）

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆農作業者と対話しながら、より安全な農作業に向けた目標を作成しましょう！（対話型研修のススメ）

【農林水産研修所 つくば館】

=====

対話型研修とは、研修の参加者と研修担当者が意見交換をしながら、研修参加者が自発的に農作業安全目標を作成し、取り組むように促す研修です。

この度、対話型研修の実施手法について、実習等を通じて習得するための研修をオンラインで実施します。

受講希望の方は、受講申請書と事前提出物に必要事項を記載の上、電子メールにより申し込みをお願いします。

普及指導員の皆様におかれましても、ご参加及び関係者への周知のほどよろしくお願い申し上げます。

日時：令和7年12月12日（金）9：30～16：30

申込期限：令和7年11月28日（金）〆切

▼詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/anzen/07taiwa.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産研修所つくば館

（農業機械研修担当）（029-839-9481）

◆「地域計画」をブラッシュアップしていきましょう

【経営局 農地政策課】

地域の話合いをベースに将来の地域農業の在り方や農地利用を明確化した「地域計画」が、全国の市町村で策定されました。

これからは計画の実現や、策定された計画のブラッシュアップに向けて話合いを継続していくことになります。

地域の話合いには、若い方、女性の方、地域外の担い手の方のほか、農業者以外の幅広い関係者にも参加いただき、地域で一体となって話し合ってください。

普及指導員の皆さまにおかれましては、協議の場に積極的に参加いただき、地域の合意形成に向けたコーディネート役や地域の実情に応じた作物の導入の提案等により産地化に向けたサポートを行うことなど、市町村の取組を支援し、地域計画のブラッシュアップの推進についてご協力をお願いいたします。

▼詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/chiiki_keikaku.html

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 農地政策課

（担当：地域計画G）（03-6744-2151）

◆自治体とWAGRI会員とのマッチングイベントを開催します！

【政策課 技術政策室】

本イベントでは、WAGRI会員が提供する多様な営農支援システムをご紹介します、自治体や普及指導員の皆様による採用・普及促進を目的としたマッチングの場を提供します。農業DXの推進には、地域農業を深く理解する自治体の協力が不可欠です。特に現場に密着した普及指導員の皆様には、地域ニーズに合った営農

支援ツールの理解を深める機会として、ぜひ積極的なご参加をお待ちしております。

日時：11月20日（火）、1月29日（木）各回14時～16時

▼お申し込みはこちら（外部リンク）

<https://forms.office.com/r/CnbJTf5Jfb>

※お問い合わせ先

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

基盤技術研究本部 農業情報研究センター

WAGRI 推進室（担当：二宮）（03—3503—6660）

=====

◆地理的表示（GI）保護制度の先使用に関する説明会を開催します

【輸出・国際局 知的財産課】

=====

GI 制度における先使用とは、登録生産者団体の構成員以外の者であっても、GI 名称やこれに似た名称を GI 登録より前から使用していた場合には、原則として GI 登録日から7年間は引き続きその表示を使用できる制度です。

令和8年1月末より順次先使用の期限が到来するところ、この度、本制度の概要や対応方法についてオンライン説明会（事前申込制）を開催します。普及指導員の皆様におかれましては、ご参加及び関係者への周知をお願いいたします。

・開催日時：令和7年11月27日（木）14時00分～15時00分

・開催形式：オンライン（Microsoft Teams）

▼詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/outline/sensiyousei/setumeikail.html

※お問い合わせ先

農林水産省 輸出・国際局 知的財産課

（担当：柴崎、小島）（03—6744—2062）

=====

◆飼料用米、WCS 用稲、飼料作物の生産者・利用者等へのアンケート調査について

【畜産局 飼料課】

=====

農林水産省は、令和9年度以降の水田政策の見直しにおける飼料用米、WCS 用稲、飼料作物に対する支援の在り方の検討にあたって、各作物の利用者と生産者、また再生協議会の皆さまに、生産と利用の状況や今後の意向をお聞きするアンケート調査を実施しています。

ご回答いただいた皆さま、ご協力に感謝申し上げます。

調査期間を1か月延長し、11月30日（日）まで実施しますので、まだご回答

いただいていない方におかれては、是非とも調査にご協力をお願いいたします。
調査期間：令和7年9月16日（火）～11月30日（日）

現場の皆さまの声をお聞かせいただきたく、普及指導員の皆様におかれましては、引き続き関係者への周知をよろしくお願いいたします。

▼回答フォームはこちら

1) 利用者向け：<https://www.net-research.jp/1287424/>（外部リンク）

2) 生産者向け：<https://www.net-research.jp/1287939/>（外部リンク）

※1) 利用者向けと2) 生産者向けは、異なるアンケート項目となります。
飼料生産に取り組まれている畜産農家の方には、お手数ですが、①と②両方のアンケートにご回答いただくよう周知をお願いいたします。

▼詳細はこちら

○飼料用米、WCS 用稲、飼料作物の生産・利用に関するアンケート調査（飼料課ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/1_siryo/250919.html

※お問い合わせ先

農林水産省 畜産局 飼料課

（担当：野中、中村、梶山、山野）（03-3502-5993）

=====

◆農業者の皆様に、長く活躍いただくために！（健康診断受診の促進）

【経営局 就農・女性課】

=====

定期的に健康診断を受けることが、病気の早期発見・早期治療につながります。健康な状態で農作業ができるよう、積極的な健康診断・がん検診の受診が重要です。

普及指導員の皆様におかれましては、農業者の皆様への幅広い周知にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

▼詳細はこちら（健康診断・がん検診の受診促進チラシ）

https://www.maff.go.jp/j/keiei/nougyou_jinzaiikusei_kakuho/attach/pdf/index-24.pdf

https://www.maff.go.jp/j/keiei/nougyou_jinzaiikusei_kakuho/attach/pdf/index-25.pdf

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 就農・女性課

（担当：菅原・福士）（03-6744-2160）

=====

◆〈参加費無料〉第4回農業者年金オンラインセミナー開催のお知らせ

【独立行政法人農業者年金基金】

=====

(独) 農業者年金基金では、「今すぐ加入が絶対お得！後悔しない賢い選択！！」をテーマに第4回農業者年金オンラインセミナーを開催します(事前登録制・参加費無料)。

本セミナーでは、農業者年金に若いうちから加入するメリットなどについて解説し、リアルタイムで質問も受け付けます。

年金は、まだ先の話…とお考えの農業者の方、保険料の負担がキツイと加入を悩んでいる農業者の方などに、ぜひご参加いただきたいと考えています。

普及指導員の皆様におかれましては、地域の農業者、特に若い農業者や女性農業者に向けて本セミナーの開催についてお知らせいただくとともに、ご自身にとっても農業者年金を知る良い機会ですので、ぜひご参加ください。

▼開催日時：令和7年12月9日(火) 15:00～16:00

▼申込締切：令和7年12月8日(月)

▼申込フォームはこちら (Google フォーム) (外部リンク)

<https://forms.gle/K7yYzX2nRWdkhTUo6>

▼詳細はこちら (独立行政法人農業者年金基金 Web) (外部リンク)

<https://www.nounen.go.jp/nounen/seido/gaiyou/seminar/index.html>

※お問い合わせ先

独立行政法人農業者年金基金 (企画調整室) (03-5919-0332)

=====

◆「ノウフクの日記念イベント 2025」を開催します！

【農村振興局 都市農村交流課 農福連携推進室】

=====

(第262号でご案内したイベントの再掲です)

農林水産省が事務局を務める農福連携等応援コンソーシアムでは、これから農業を志す方や、若手農業者、農福連携関係者等を対象とした「ノウフクの日記念イベント 2025『11月29日はノウフクの日！～聞いて、知って、食べて農福連携～』」を12月1日(月)に都内会場で開催します。会場にて、農福連携に関する講演とトークセッションの他、農福連携製品の試食や展示も行います。また、オンラインでも配信いたします。

普及指導員の皆様におかれましては、各地の若手農業者や農福連携に取り組んでいる方々に対し、積極的なご案内をよろしくお願いいたします。

▼詳細はこちら (外部リンク)

<https://x.gd/RITNi>

日時：12月1日(月) 13時～17時

会場：ベルサール虎ノ門

(東京都港区虎ノ門2-2-1 住友不動産虎ノ門タワー 2F)

共催：一般社団法人日本農福連携協議会、株式会社インサイト、

農福連携等応援コンソーシアム、農福連携全国都道府県ネットワーク

※お問い合わせ先

一般社団法人日本農福連携協会

メールアドレス：info@noufuku.or.jp

農林水産省 農村振興局 都市農村交流課 農福連携推進室

(担当：原) (03-3502-0033)

=====

◆「水田輪作新技術プロジェクト」キックオフフォーラムについて(12/11 開催)
【農研機構】

=====

農研機構は12月11日(木)につくば市にて、『水田輪作新技術プロジェクト』キックオフフォーラム」を会場及びオンライン配信により開催します。本会議では、水田をフル活用した農業をより推進するため、株式会社クボタ 菊池 昌彦氏による招待講演「たまねぎの直播栽培技術」や、農研機構が開発した土地利用型農業をベースとする新たな農業技術についてご説明します。

本フォーラムの内容が日ごろの普及推進の一助となりますと幸いです。

▼詳細はこちら (外部リンク)

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/naro/171812.html

※お問い合わせ先

農研機構 本部 事業開発部 (担当：坪、山下) (029-838-6952)

=====

◆(研究成果)サツマイモ基腐病に強く収量・外観・食味に優れる沖縄向け青果用紅いも新品種「Hai-Sai すいと」
～沖縄県産ブランド紅いもの確立に向けて～
【農研機構】

=====

農研機構は沖縄向け青果用紅いも新品種「Hai-Sai(はいさい)すいと」(系統名:糸系4)を育成しました。サツマイモ基腐病に強く、沖縄県で青果用として利用されている「沖縄紫(おきゆめむらさき)」や「備瀬(びせ)」よりも多収で外観が良く、肉色は「沖縄紫」と同等の濃い紫色を呈し、蒸しいものの食味が良いのが特徴です。沖縄県産紅いもの青果用市場の拡大に貢献することが期待されます。

沖縄県の普及指導員の皆様におかれましては、本品種の活用をご検討いただき、現場でのご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら (外部リンク)

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/karc/172298.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム（外部リンク）

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：吉田、佐藤、高橋）（０３－３５０２－７４０７）

=====

◆（研究成果）基腐病に強い赤紫肉色のサツマイモ新品種「さくらほのか」

～多収・鮮やかな色調で、加工用途の拡大に期待～

【農研機構】

=====

農研機構は、赤紫色の肉色を持つサツマイモの新品種「さくらほのか」を育成しました。「さくらほのか」は、既存の紫サツマイモとは異なり、赤みを帯びた暖色系の鮮やかな赤紫色が特徴です。いも収量が高く、サツマイモ基腐病に対する抵抗性にも優れています。揚げ菓子などの加工用途に利用することで、色鮮やかなサツマイモ菓子の開発が可能となり、加工品の多様化が期待されます。

普及指導員の皆様におかれましては、本品種の活用をご検討いただき、現場でのご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら（外部リンク）

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/karc/172297.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム（外部リンク）

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：吉田、佐藤、高橋）（０３－３５０２－７４０７）

=====

◆（お知らせ）収穫したレンコンに傷が... カモの食害？

～食痕から「カモ被害」を識別する標準作業手順書を公開～

【農研機構】

=====

農研機構は、「れんこんへの『カモ被害』把握のための食痕識別標準作業手順書」をウェブサイトで公開しました。

収穫したレンコンにえぐられた傷があった場合に、鳥（マガモ、カルガモ、オオバン）による食害であるか識別する手順を解説しています。

様々な形の食痕（レンコンに付いた傷）の実例写真を収録しました。本手順書と照らし合わせることで、加害種を推定し、鳥によるレンコン食害の正確な把握につなげることができます。

普及指導員の皆様におかれましては、本手順書の活用をご検討いただき、現場でのご指導及びご協力いただけますと幸いです。

▼詳細はこちら（外部リンク）

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nilgs/172044.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム（外部リンク）

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：吉田、佐藤、高橋）（０３－３５０２－７４０７）

=====

- ◆（研究成果）多収でサツマイモ基腐病など複数の土壌病害虫に対する抵抗性をもつ原料用サツマイモ新品種「コガネタイガン」
～原料用サツマイモの安定供給に期待～

【農研機構】

=====

農研機構は、でん粉や焼酎の原料用サツマイモ新品種「コガネタイガン」を育成しました。「コガネタイガン」は、原料用の主力品種「コガネセンガン」より４割程度多収で、サツマイモ基腐病などの主要な土壌病害虫に対する抵抗性を有しています。また、萌芽性が優れるため、苗作りも容易です。でん粉の特性は従来のでん粉原料用品種とほぼ同等で、焼酎にした時の酒質（味と香り）は「コガネセンガン」の焼酎に似ています。そのため、南九州におけるでん粉や焼酎原料の安定供給への貢献が期待できます。

普及指導員の皆様におかれましては、本品種の活用をご検討いただき、現場でのご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら（外部リンク）

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/karc/171412.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム（外部リンク）

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：吉田、佐藤、高橋）（０３－３５０２－７４０７）

=====

- ◆（研究成果）一般的なサツマイモでん粉とは特性が異なる低温糊化性でん粉原料用サツマイモ新品種「こなみらい」
～食感改良効果や品質保持効果を活かした食品用途拡大に期待～

【農研機構】

農研機構は、低温糊化性でん粉をもつでん粉原料用サツマイモ新品種「こなみらい」を育成しました。低温糊化性でん粉は、食品の食感改良効果や品質保持効果などを有し、様々な食品に利用されています。「こなみらい」は従来の低温糊化性でん粉原料用品種「こなみずき」よりも、多収で、サツマイモ基腐病に強いです。南九州のサツマイモ産地への普及を見込み、安定生産とサツマイモでん粉の食品用途拡大への貢献が期待されます。

普及指導員の皆様におかれましては、本品種の活用をご検討いただき、現場でのご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら（外部リンク）

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/karc/171413.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム（外部リンク）

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：吉田、佐藤、高橋）（０３－３５０２－７４０７）

◆（研究成果）橙肉色の焼酎原料用サツマイモ新品種「はなあかね」
～華やかな香りの焼酎で芋焼酎市場の活性化に期待～

【農研機構】

農研機構は、橙肉色（とうにくしょく）の焼酎原料用サツマイモ新品種「はなあかね」を育成しました。橙肉色の普及品種である「タマアカネ」に比べ、より華やかな香りの焼酎ができ、またでん粉収量が多いので製造コストの低減も期待されます。苗の生産性も向上しています。南九州のサツマイモ産地への普及を見込み、芋焼酎市場の活性化に貢献することが期待されます。

普及指導員の皆様におかれましては、本品種の活用をご検討いただき、現場でのご指導及びご協力いただけますと幸いです。

▼詳細はこちら（外部リンク）

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/karc/171415.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム（外部リンク）

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

(担当：吉田、佐藤、高橋) (03-3502-7407)

◆「第3回みどり技術ネットワーク全国会議」を開催します！

【大臣官房政策課 技術政策室】

農林水産省は、「みどりの食料システム戦略」の実現に貢献する技術の更なる改良や社会実装を一層加速させるため、今年度も全国会議を開催します。全国で関心の高い「天敵利用（生物農薬）」をテーマに、農業界のトップランナーが集結し、本音で語り合うパネルディスカッションを行うほか、パネル展示・ポスターセッションでは、全国9ブロックで選出された「みどりの食料システム戦略」の実現に貢献する技術をポスターセッション方式で紹介します。大阪・関西万博での展示内容も登場しますので、皆様奮ってご参加ください。

令和7年11月28日(金曜日)13時00分から14時30分まで

(2) パネル展示・ポスターセッション・実演(体験)

令和7年11月26日(水曜日)から28日(金曜日)まで

3 日間ともに 10 時 00 分から 17 時 00 分まで

会場：「アグリビジネス創出フェア 2025」

(東京ビッグサイト西展示棟西3ホール)

(1) メインステージ（特別パネルディスカッション）

(2) 総-07 ブース (パネル展示・ポスターセッション・実演(体験))

所在地：東京都江東区有明 3-11-1

▼プログラムはこちら

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo03/midori.pdf>

※今後、プログラムの一部が変更となる場合がございます。

▼詳しくはこちら

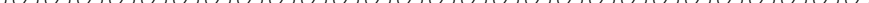
「第3回みどり技術ネットワーク全国会議」を開催します！（農林水産省 Web）

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihvo03/251112.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房政策課 技術政策室

(担当：中野、平野) (0 3 - 3 5 0 2 - 3 1 6 2)



※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧ください、「Get Adobe Reader」のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。